

第29回JA青森県大会 資料

日 時 令和4年2月25日（金）13時

場 所 青森県農協会館 7階 大会議室



JAグループ青森
青森県農業協同組合中央会

目 次

次 第	1
J A 綱領	2
全中功勞表彰者名簿	3
議案提出書	4
大会決議（案）	5
一般社団法人全国農業協同組合中央会会長祝辞	6
第 29 回 J A 青森県大会開催要領	8
第 29 回 J A 青森県大会組織協議案策定検討会議名簿	9

次 第

1. 開 会
2. 主 催 者 挨 拶
3. 議案提案(経過報告含む)
4. 大 会 決 議
5. 閉 会

J A 綱 領 —わたしたち J A のめざすもの—

わたしたち J A の組合員・役職員は、協同組合運動の基本的な定義・価値・原則(自主、自立、参加、民主的運営、公正、連帯等)に基づき行動します。

そして、地球的視野に立って環境変化を見通し、組織・事業・経営の革新をはかります。さらに、地域・全国・世界の協同組合の仲間と連携し、より民主的で公正な社会の実現に努めます。

このため、わたしたちは次のことを通じ、農業と地域社会に根ざした組織としての社会的役割を誠実に果たします。

わたしたちは

1. 地域の農業を振興し、わが国の食と緑と水を守ろう。
1. 環境・文化・福祉への貢献を通じて、安心して暮らせる豊かな地域社会を築こう。
1. J A への積極的な参加と連帯によって、協同の成果を実現しよう。
1. 自主・自立と民主的運営の基本に立ち、J A を健全に経営し信頼を高めよう。
1. 協同の理念を学び実践を通じて、共に生きがいを追求しよう。

全中功勞表彰者名簿（平成30年度～令和2年度）

功勞表彰者

年 度	J A 名	表彰時役職名	氏 名	備 考
30年度	ゆうき青森 中央会	代表理事組合長 副 会 長	酒 井 一 由 様	
	相 馬 村	代表理事組合長	三 上 道 廣 様	
元年度	おいらせ 中央会	代表理事組合長 代 表 監 事	沖 澤 繁 弥 様	
2年度	該当者なし			

議 案 提 出 書

第 29 回 J A 青森県大会の議案については、「第 29 回 J A 青森県大会開催要領」第 6 項に基づき、中央会理事会で決定したので、下記のとおり提出する。

記

別冊の「第 29 回 J A 青森県大会議案」を決議願いたい。

令和 4 年 2 月 25 日

青 森 県 農 業 協 同 組 合 中 央 会
代 表 理 事 職 務 執 行 者 雪 田 徹

大 会 決 議 (案)

第 29 回 J A 青森県大会議案を別冊のとおり決議する。

なお、決議事項の実践にあたっては、下記のとおり取り組むことを確認する。

記

1. 決議内容の徹底

系統各段階において、次により大会決議の内容を周知し、その実践にあたるものとする。

- (1) 役職員は、理事会、職員会議、研修会等、あらゆる場を通じて、大会決議事項を周知し、運動推進にあたっての認識の統一をはかるものとする。
- (2) 組合員は、集落座談会、総(代)会、部会等の各種会合、あるいは J A の広報誌(紙)等を通じ、組合員一人ひとりが主体的に運動に参加するよう意思統一をはかるものとする。
- (3) 組合員組織および青年・女性組織は、研修会、学習会等を通じ大会決議事項の周知をはかるとともに、各組織の活動方針に組み入れるものとする。

2. 計画の策定と実践

系統各段階において、次により決議事項をそれぞれ具体化し、実践にあたるものとする。

- (1) 中長期計画の策定にあたっては、決議事項の重点取り組み内容について具体的な実施方策を盛り込み、総(代)会に付議するものとする。
- (2) 実施計画の策定にあたっては、中長期計画に基づいて、単年度事業計画に反映させて総(代)会に付議し、年度毎に実践する。
- (3) 実践状況については、定期的の実績検討会を行い、決議事項の実践状況の進捗管理を徹底することにより、大会決議の確実な実行をはかるものとする。

令和 4 年 2 月 25 日

第 29 回 J A 青森県大会

一般社団法人全国農業協同組合中央会会長祝辞

本日ここに、第29回JA青森県大会が開催されるにあたり、JAグループを代表し、お祝いのメッセージをお送りいたします。

新型コロナウイルス感染症は、発生から2年が経過しましたが、オミクロン株の急拡大に伴い、各地でまん延防止等重点措置が発令されました。この間の厚生連病院をはじめJAグループ厚生事業に携わる皆様の並々ならぬご尽力にあらためて敬意を表します。一方で、コロナ禍で得た教訓が忘れられないよう、「国消国産」の意義について発信を続けてまいります。

JAグループでは、平成26年に自己改革の3つの基本目標を掲げ、第27回大会以降、「創造的自己改革」に総力を挙げて取り組んでまいりました。

組合員との徹底的な対話活動を通じ、その声を事業や活動に生かすことで、創意工夫ある取り組みの実践・定着につながり、着実に成果があがっています。組合員や政府からも一定の評価を得たことで、農協改革にも大きな区切りをつけることが出来ました。組合員・役職員一人ひとりの力が結集した成果であり、JAグループ青森の皆様のご尽力に感謝申し上げます。

今後、ますます重要になるのは、地域や組合員に対してJAの存在価値を高めしていくことです。「JAがあってよかった」「地域になくてはならない」と言われるような組織になることがより一層求められます。

昨年10月に開催した第29回JA全国大会では、「持続可能な農業・地域共生の未来づくり～不断の自己改革によるさらなる進化～」をテーマとし、次の10年の目指す姿とその実現に向けて、農業・地域JA組織などの各基盤の確立・強化をはかるため、中長期を見通して重点的に取り組む5つの柱を決議しました。

自己改革に終わりはありませんが、今大会は、令和になり初めての大会であり、新たなステージに進むための重要な転換点になると考えています。

これまでのJA・県域ごとの実態をふまえた創意工夫ある自己改革に取り組んでいただいたことに敬意を表するとともに、あらためて、それぞれの環境変化や実態を確認いただき、その実情に合った取り組み内容を見極めた上で、多様な関係者と連携し、スピード感を持って実践していただくことが重要です。

JAグループ青森の皆様におかれましては、持続可能な農業・地域共生の未来づくりに向けて、組合員の皆様とともに、JA青森県大会で掲げた目標の実践に取り組まれることを、大いにご期待申し上げます。

最後になりましたが、貴県下の組合員・JAグループ役職員の皆様方の今日までのご活躍に敬意を表するとともに、益々のご発展とご健勝を祈念申し上げ、お祝いのメッセージとさせていただきます。

令和4年2月25日

一般社団法人全国農業協同組合中央会
代表理事会長 中家 徹

第 29 回 J A 青森県大会

開 催 要 領

令和 3 年 11 月 22 日
青森県農業協同組合中央会

1. 開催目的

J A グループ青森の抱える諸問題に対する認識を統一し、今後取り組むべき方向を確認し、意思結集を図るため、第29回 J A 青森県大会を開催する。

2. 主 催

青森県農業協同組合中央会

3. 開催日時

令和 4 年 2 月 25 日（金） 13:00～13:30

4. 開催会場

青森県農協会館 7階 大会議室

5. 参加人員並びに参加範囲

- (1) 参加人員 約 100名
- (2) 参加範囲 各 J A ・連合会常勤役員、幹部職員、青年部・女性部代表

6. 大会議案

- (1) 大会議案は、中央会理事会において決定する。
- (2) 大会議案の原案は、J A、連合会、青年部・女性部等の各団体・組織において、組織協議を実施する。
- (3) 組織協議の原案は、組織協議案策定検討会議において検討し、中央会理事会において決定する。

7. 大会運営

大会運営は、中央会理事会において決定する。

8. その他

- (1) この要領の設定・変更は、中央会の理事会において決定する。
- (2) この要領は、本大会の終結の時までとする。

第29回 J A 青森県大会 組織協議案策定検討会議

名 簿

団 体 名	役 職 名	氏 名
青 森 農 業 協 同 組 合	代表理事組合長	雪 田 徹
つがるにしきた農業協同組合	代表理事組合長	泉 谷 利 幸
ごしょつがる農業協同組合	代表理事組合長	斉 藤 勝 徳
つがる弘前農業協同組合	代表理事組合長	工 藤 文 明
相馬村農業協同組合	代表理事組合長	大 場 勉
津軽みらい農業協同組合	代表理事組合長	工 藤 俊 博
十和田おいらせ農業協同組合	代表理事組合長	畠 山 一 男
ゆうき青森農業協同組合	代表理事組合長	乙 部 輝 雄
おいらせ農業協同組合	代表理事組合長	沖 澤 繁 弥
八戸農業協同組合	代表理事組合長	山 美 喜 正
青森県農協青年部協議会	委 員 長	成 田 啓 輔
青森県 J A 女性組織協議会	会 長 理 事	成 田 縫 子
農林中央金庫青森支店	支 店 長	清 水 雅 夫
全国農業協同組合連合会青森県本部	県 本 部 長	桑 田 徳 文
全国共済農業協同組合連合会青森県本部	本 部 長	福 士 雅 巳
青森県農村工業農業協同組合連合会	代表理事専務	小 笠 原 康 彦



J Aグループ青森



耕そう、大地と地域の未来。